

最新動向に触れ理解深める

シーキューブがBIMセミナー

CADシステム販売、技術サポートなど手掛けるシーキューブ（新潟市中央区上近江1-7-13 本川勇次代表取締役）は25日、新潟市中央区のホテルサンルート新潟で「BIM活用推進セミナーin新潟」を開いた。BIM導入を考える建設業者やコンサルタントら70人余りが集まり、理解を深めた。

日本のBIMトップランナーを講師に迎え、基本から導入事例、最新の動向とツールの解説。協賛・協力は新潟工科専門学校、応用技術、SB C&S、オートデスク。冒頭、あいさつに立ったCAD百貨事業部BIM／CIM販売グループゼネラルマネージャーの児玉世治氏は「将来のBIM対応は不可避な状況だが、導入イコール効果・実績ではない。できることから始めるためのヒントにして欲しい」と述べた。

最初に、オートデスクの鈴木あずさ氏がBIMの概要と最新動向について説明。続いて、ICTによる設計マネジメントサービスを手掛けるプレinstaffの仲川昌夫代表取締役会長兼社長、富樫順也情報システムグループリーダーが「建てる前に建てる」～BIMによる建設プロセス改革への挑戦～と題し講演。自らの経験を踏まえながら竣工BIMモデルを着工前に構築する建設プロセス

改革に向けた取り組みを語った。また、16年からBIMを正式なカリキュラムに取り入れ、教育

機関として国内初のRevitユーザー認定試験を行うなど、最先端の教育を手掛ける新潟工科専門学校を児玉氏が紹介した。

後半は、大成建設と応用技術が手掛ける「BooT・One」を解説。オートデスクのBIMソフトウェアであるRevitのアドインパッケージとして誰もが使えるBIMをコンセプトに開発

されたサービスで、応用技術の高木英一氏が全体概要などを説明した後、大成建設の大島友延氏と菅井雄史氏がデモンストラーションを含めた実例解説を行った。

70人余りが参加したセミナー

